

蠟梅 Now

今年の夏は暑さが厳しく、残暑もことのほか長かった。10月も半ばを過ぎた今、さすがに朝夕は秋の気配を感じるようになったが、昼日中、時に残暑の名残を感じることもある。思い起こすのは、しきりに警鐘が鳴らされてはいるものの、一般の関心は決して高くない「地球温暖化」問題。その影響が着実に進行しているような気はするが、回避するための実効ある対策には手付かずの状態に近いのが現実のようである。「笛吹けど踊らず・・・」

自然界では、時節の変化に連れて、概ね万物は当意即妙ともいえる対応に駆り立てられる。今年は残暑が厳しかったこともあって、当法人のシンボルツリー「蠟梅」も他の樹木同様に遅ればせながらも黄葉の兆しが見えてきた。昨年は、開花後に奇妙な形の結実が見られ、それが秋枯れでまるで糞虫のような形状に変貌し、つい先ごろまで幾つかが樹上に見られたが、その姿も今はない。今年は、開花後の結実が見られず、隔年結実なのだろうか、と思いつつ調べてはみたが結論に至っていない。一般的には、結実により樹木の勢いが削がれると言われることから、来年初頭の開花には期待が持てそうである。暖冬の気配もあり、開花は早そうな気がする。まもなく落葉し、年末には花芽を目にすることができるかもしれない。今、時折住宅街の一隅から流れてくる金木犀の芳香にくすぐられ、来る蠟梅の開花に伴ってそこはかと漂う芳しい匂いに思いを馳せている。



黄葉の兆しが・・・

《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ftfk.or.jp
URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>